

北方領土

新聞

千葉県
浦安市立高洲中学校

北方領土問題とは？

北方領土問題とは、第二次世界大戦の末期、日本がポツダム宣言を受け入れ、降伏したあとにソ連が北方四島に侵入して日本人島民を強制的に追い出すなどし、ソ連がロシアとなった今もなお、北方四島を法的根拠なく、占拠し続けていることである。

北方四島の地理



歯舞群島 95km
「貝殻島」までは、納沙布岬から 3.7 km

色丹島 249km
標高43mの斜古丹山を中心に山全体が、なだらかな丘陵となっている。自然も豊かである。

国後島 1,489km
千島列島の最南に位置する島。長さは123kmくらい。沖繩本島の面積よりも広い。

択捉島 3,167km
日本最北端の島。長さは214kmほど。アイヌ語の「エトウ・フロプ」が名前の由来。

面積の合計……5003 km² ↑これは、千葉県や福岡県とほとんど同じ。

高校生の出前講座で学んだこと

★北方四島の歴史

1792 ラクスマン来航 → スケートを伝えた
日本初！

1855 2.7 日露通好条約

「エトロプ」全島は日本に属し「クリル」諸島は魯西亜に属す

1875 樺太千島交換条約

日本は千島列島をロシアからゆずり受けるかわりに、樺太全島を放棄した。

1905 ポーツマス条約

北緯50度以南の南樺太が日本の領土

1945 ソ連が日ソ中立条約を一方的に破棄

1951 サンフランシスコ平和条約

★深刻な北方領土問題

1. 元島民の高齢化
平均年齢は84才だ。若い人がいなくなる

2. 水産資源
魚介類や化石燃料などがとれない

3. ゴミの問題(島の環境汚染)
ステキな自然と、カワイイ動物たちがいなくなっちゃうの！



2/7 は北方領土の日。

70年たっても解決の糸口がみえず、若者からの関心はうすまっている。

「ジョバンニの島」を鑑賞して

私も読んだことがある「銀河鉄道の夜」という話も交えて、第二次世界大戦後に、小さくさびかに紛れてソ連が北方四島を占拠していく様子がわかりやすく描かれていた。日本人がおいたとされる場所を、目の当たりにして、厳しい現実を感じた。



元島民の方の話を聞いて

- ・小学校は50人くらいで、生活にも困っていた。
- ・ソ連軍が上陸してきたとき、女性や子どもは、山や馬小屋などにこかくれた。
- ・当時、日本人島民は1000人ほどいたのに、今では600人ほどになった。
- ・根室にきたときは、住むところも食べるものもなかった。
- ・資源のただけに返せと言っているわけではない。
- ・国民の考えるべき問題なので、一人でも多くの人に伝えてほしい。

まとめ

北方領土問題の解決はあまり進んでいない。ロシアは……自分たちの生活ばかり考えていて、返す意識もない。北方領土の勉強もしていない。石油や天然ガスも日本に売りたい。アメリカに基地を作られたくない。北方領土問題は根室市だけではなく、日本全体で考えるべき、大切な問題である。

研修の感想・考え

私が実際に現地に行き、印象に残ったものは、「返せ」などと強い言葉で書かれた看板や各地での署名活動です。昔から今までも、と活動しているのだと感じました。その看板を全てなくす日が一日でもはやってくれば、いいと思いましたが、元島民の方の話を聞いて、資源や利益のためではなく、四島を大切に思う心があるのだとわかりました。ロシア人だけではなく、日本人も、島を自由に行き来できるように、いい心から思うことができました。